

2020年6月15日

報道機関 各位

新型コロナウイルス感染症による学生の経済状況の変化に関する
緊急調査の結果について

◆本件のポイント！

- ・島根大学教員有志によって行われた、島根大学生の経済状況に関する緊急調査の結果を発表
- ・対象は松江キャンパスの全学生（院生含む）で、回答は2,322件（回収率＝48.0%）
- ・深刻な学生の経済状況が明らかになり、さらなる支援の必要性が浮き彫りに

◆本件の概要

新型コロナウイルス感染症拡大にともない、大学生の急激な経済状況の悪化が進み、学生への支援の必要性と重要性、緊急性が高まっています。学生団体FREEが実施したアンケートでは5人に1人が「退学を考える」と回答したと報じられました。今後、学生が安心して修学し続けられるため、これまでの支援を量・質ともにさらに拡充させていくことが求められています。そこで、島根大学においても、学生の経済状況の悪化の実態を早急に把握することが必要と考え、教員有志が緊急の学生アンケート調査を行ないました。

今回の会見ではその調査の内容と結果を紹介し、島根大学でも全国と同様に、学生たちが厳しい現実に直面している実態について報告します。

◆概要内容

日時：6月18日（木）10：00～11：00

場所：島根大学本部棟5階大会議室

参加者：アンケート調査を呼びかけ、実施した教員有志

◆本件の連絡先

島根大学法文学部・関耕平

Tel&Fax0852-32-6161

◇その他 ※何か特記すべきことがありましたら、記入願います。
なし

【添付資料： ■なし】